

第六回 貴族院鐵道比較線路決定ニ關スル法律案特別委員會速記録第二號

明治二十七年五月二十八日(月曜日)午前八時四十分開會

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ敷設鐵道ノ甲號カラ始メマセウ

(朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道線ヨリ分岐

シテ木更津ニ至ル鐵道線中千葉縣下千葉ヨリ曾我町ニ至ル鐵道

一福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道線中熊本縣下

山鹿ヨリ植木ニ至ル鐵道

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ本線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認

ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サハルトキハ其ノ建設費實費ヲ

以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當

ノ條件ヲ附スヘシ

○尾崎三良君 チョット政府委員ニ質問致シタウゴザイマセガ、是ハ他ノ私

設鐵道許可ノ件ニハ仕舞ヒニ條件モ何モ付イテ居リマセヌガ是ニ限ッテ條件

ガ付ケテアルノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 夫ハ御承知ノ通り敷設法ノ中ノ豫定線デアリマ

シテ其中ノ一部ヲ切賣リヲスル譯デアリマスカラスウ云フ條件ヲ付シテ置ク

ノデアリマス、固ヨリ是ハ必要ノ線路デアリマスカラ他日此線ヲ政府デ敷設

スルカ或ハ私設ヲ願出ル者ガアレバ夫ニ許可シタイト云フ希望ヲ持テ居リマ

スカラ其時ニ差支ノナイヤウニ斯ウ云フ條件ヲ附シテ置クノデゴザイマス

○子爵松平信正君 木更津線ハ富津ノ砲臺ニ聯絡シテ居ッテ軍事上必要ナ線

ト思ヒマスルガ之ヲ官設ニシナイ理由ハドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(兒玉源太郎君) 是ハ最初ヨリ第二期ノ豫定線ニナッテ居ルノデ

アリマスノミナラズ是ハ富津迄ハ行カナイ木更津デ止マルノデアリマス、且

又實際軍事上ニ於テ富津ニ這入リマスト即チ防禦線外ヲ通ッテ這入ルコトニ

ナリマスカラ木更津カラ富津マデノ間ハ軍事上ニハ太シテ必要ハナイノデア

リマス、又之ハ一期ノ豫定線ニ入レテ即チ今之ヲ架ケナイデハナラヌト云フ

様ナ急ナモノデモナイノデアリマス

○子爵曾我祐準君 防禦線外トハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(兒玉源太郎君) 富津ノ陸堡ノ正面ヲ通ッテ這入ル様ニナッテ居

リマス、富津ニ這入ルト本洲ニ陸堡ガアル、アレハ正面ハ海ニ面シテ居リマス

ケレドモ矢張り陸ヲ閉鎖シテ居リマス、陸ヲ閉鎖シテ居リマス故ニ此線路ハ

木更津ニ止メテ置キマス、若シモ尙ホ先キ迄延ブナラバ富津ヨリハ佐貫ニ迴

ハルガ至當デアラウト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 陸軍デハ時ニヨレバ佐貫ナリ富津ナリニ兵ヲ配ル必要ガ

アリマセヌガ、防禦線外ト云ヘバ或ル點カラ或ル點ニ聯絡シテ居ルモノハ盡

ク防禦線……………(此處聴取レズ)

○政府委員(兒玉源太郎君) 私ハサウハ思ヒマセヌ、木更津ノ地方デハ陸地

ニ受ケマス敵ハ或ハ館山カラ上ッテ來ル者、若クハ小港ノ邊カラ上ッテ來ル

者、此二ツノ方面カラ敵ヲ受ケルモノト考ヘテ居リマス、夫ニ對シテハ木更

津ト富津ノ關係ハ大事デアリマスカ木更津ト佐貫ノ方面ニ出テ即チ鋸山ノ新

道ヲ通ッテ北條ノ方ヘ向イテ居ル線路ガ必要カト云ヘバ佐貫ニ向イテ居ル線

路ノ方ガ必要デアアル、是ハ即チ此點ニ向ッテ野戰兵ヲ派遣ヲシナクテハナリ

マセヌ線路デアアル、之ヲ木更津カラ富津ヘ付ケルコトニナルト單ニ富津ノ海

堡ヘ物品又ハ兵隊デモ送ルト云フ時ニハ夫ハ重ニ海路ノ交通ガ出來ル積リデ

アリマス、夫故ニ此鐵道ハ木更津カラ南ニ向ッテ延ベル場合ナラバ富津ヨリ

モ佐貫ニ寄セタ方ガ宜カラウト思ヒマス、故ニ富津迄ト云フコトハ望ミマセ

ヌ

○子爵曾我祐準君 松平君ノ御問ヒニナッタノハ必ス富津迄ト云フコトデハ

ナイ富津ニ向ッテ敷ク線路ノ必要ガ陸軍ニアリハセヌカト思フ、夫ヲ何故ニ

私設會社ニ向ッテ許スデアラウカ官設ニスル必要ノアル線ノ一デハナイカト

云フ御問デアッタト思ヒマス

○子爵松平信正君 サウデス

○政府委員(兒玉源太郎君) 木更津迄ハ第二期ノ豫定線トシテ必要ノ線トシ

テアリマス、是ハ未ダ私設會社ニハ許シマセヌ、即チ千葉ヨリ曾我野迄ノ條

件付デ許シテ其先キノ曾我野カラ木更津迄ノ間ハ私設ニナルカ官設ニナルカ

未定デアリマス、是ハ此間ノ遞信省ノ政府委員カラ御話ヲ致シマシタ通り補

給利子ヲ付ケテ貰ッテ私設シタイト云フ願ヒハアリマシタガ夫ハ却下ニナリ

マシタ

○政府委員(松本莊一郎君) 千葉カラ木更津迄ノ調査ヲシテ見マシタガ是ハ

廿三哩半バカリデアッテ其建築費ハ私ノ記憶デ申上ケマスカラ確カナコトハ

分リマセヌガ六七十万圓位ハ少ナクモ掛カルモノト信シテ居リマス、然ル

ニ過日政府カラ保護シテ呉レト云フテ出願シマシタノハ六十万圓ノ資本デサ

ウシテ毎年二万五千圓ヅ、二十年間貫ヒタイト云フノデ、是ハ餘リ旨イ話デ自

分勝手ナ願ト認メマシタカラ政府デ調査スル迄モナイト思ッテ直ニ却下致シ

マシタ、是ハ房總鐵道會社カラ出願シタノデアリマスガ其後又他ノ發起者カ

ラ出願シマシタ、是ハ富津迄ヤル富津迄ヤルカラドウゾ五歩ノ補給ヲシテ吳

レ即チ是ハ毎年幾ラト云フノデナクシテ年五分ノ補給ヲシテ吳レト云フノデ

アリマス、是ハ唯今遞信省ニ留ッテ居リマセヌガ、是又許スベキモノデナイト云

フ見込アリマス、夫デ千葉カラ會我野迄ト云フノハ僅カ三四哩デアリマス  
カラ是丈ガ中間ニ挾マレテ居テハ先キマデ延バス時ニナツテ不都合デアラウ  
ト思ヒマスカラ斯ウ云フ條件ヲ付ケタノデアリマス

○子爵曾我祐準君 私設鐵道ヲ許スト云フ事ニ付テ大體ノ方針ヲ聞イテ置カ  
ネバナリマセヌガ總テ此ノ補給利子ナリ若クバ哩數ニ付テノ補助ト云フヤウ  
ナ事ハ一體ニ許サナイト云フ御決心デアリマスカ或ハ其場所ニ依リ其金高ニ  
依ッテハ從來ノ日本鐵道會社トカ山陽鐵道會社トカ云フモノ、様ニ補給ヲス  
ル御積リデアアルカ是ガ一ノ御尋、夫カラ私設鐵道ヲ許ス時分ニ其線路ノれ  
るトカ橋梁トカ云フ様ナモノハ何カノ規程ニ據ッテ例ヘバ官線ノ線路ニ准ジ  
テ官線ト同様ナ重量ノ物ヲ引キ得ル丈ノモノデナケレハ許サナイトカ或ハ官  
線ヨリ何割減以上重量ノ物ヲ引キ得ルモノデナケレバ許サストカ云フ様ナ何  
カ制限カアリマスカ或ハ又一定ノ標準ハナクシテ其部分部分ニ依ッテ色々違  
フノデアリマスカ此ニ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ少シ精ク申上ケテ置キタウ御座イマス、夫  
デ唯今私設鐵道ニ補給ヲ與ヘテゴザイマスノハ御承知ノ通り日本鐵道會社ト  
北海道ノ炭礦鐵道會社ト此ニツデアリマス、日本鐵道會社ハ御承知デモゴザ  
イマセウ線路ノ區域ガ五ツニナツテ居ッテ其五ツノ區毎ニ別々ニ計算ヲシテ夫  
ガ八歩ノ利益ニ達シナイ所ガアツタ時ニハ之ヲ八歩迄ニハ足シテヤルト云  
フ約束デ其約束ハ仙臺迄ガ三區ニナツテ居ル、此三區間ハ竣工ノ時ヨリ十箇  
年仙臺ヨリ先キハ十五箇年間補給ヲヤルト云フコトニナツテ居リマス、唯今補  
給ヲ重ニ受ケテ居リマスルノハ四區ト五區デゴザイマス、即チ仙臺ノ北、又北  
海道ノ炭礦鐵道會社ハ營業ヲ開キマシタ後八箇年ノ間五分ノ利子ニ達シナ  
イ時ニハ五分マデニ補給スルコトニナツテ居リマス、山陽ト九州ト此兩鐵道  
會社ニ向ッテハ補給ハヤッテゴザイマセヌデ、唯一種ノ補助金ガヤッテゴザイ  
マスノデ其補助金ハ一度限りデアリマス、最初線路ヲ作りマス時ニ、其線路  
ガ竣工ヲシテ即チ運輸ノ營業ヲ致シマス時ニ免許料ヲ上納シテ免狀ヲ下附  
スル時ヲ期限トシテ其開業シタ時分ニ於テ一哩ニ付テ二千圓丈ケヤルコトニ  
ナツテ居リマス、山陽モ九州モ誠ニ僅ナ金デ、是ハモト何カラ起ツタカト申  
スト其起リハモト建築中ニ鐵道ノ資本ト云フモノガ少シモ利ヲ生マナイモノ  
デアリマスカラソコデ利ヲ生ミ出スマデノ間、即チ建築ヲ始メテ土地ヲ買フ  
タリ土工ヲ施シタリ或ハレハ其買フタリレハ其敷キ橋梁ヲ建設シ運輸  
轉ヲ始メル即チ開業ニ至ル間資本ガ利ヲ生マナイカラ其資本ニ對シテ幾分か  
利子ノ保護ヲ與ヘテヤラセルト云フノガ起リデアリマシテサウシテ段々算盤  
カラ割出シタ結果終ニ一哩二千圓ノ金ヲヤル、殆ト四分二近イ利足ヲ與フル  
ト云フコトカラ一哩二千圓ニナツタノデ、初メハ九州鐵道ナドハ計算ヲ以テ四  
分ダケノモノナラ最初カラヤラウト云フコトデアリマシタガサウスルト餘程  
計算モ複雑ニナツテ貰フ方デモ種々監督ヲ受ケルト云フ様ナ面倒モ見ナケレ  
バナラヌ、與ヘル方デモ是ニ付テハ少ナクヤラウト云ヒ貰フ方デハ餘計ニ貰

ヒタイト云ツテ紛議ノ種ヲ蒔ク様ナモノデアリマスカラ、夫ヨリモ寧ロ一  
哩二千圓ト句切ツタ方ガ明瞭デアラウト云フノデ二千圓ノ金ヲ一哩ニ付テヤ  
ルト云フコトニナリマシタノデゴザイマス、例ヘバ今日二千圓ヲ一哩ニ付テ  
與ヘルト云フコトニシタ所ガ一哩四萬圓デ出來ル部分ニ致シタ所ガ僅二十  
分ノ一ニシカ當ラヌ即チ百分ノ五ニシカ當ラヌ、平均五萬圓デ山陽鐵道ガ  
掛ッテ居ルノニ僅カ建築費ノ五分ノ一ヲ一度貰フト云フコトデゴザイマス  
カラ、夫ノ五分ノ保護金其以上ノ補給ト云フモノニ比較シテ見ルト極ク僅少  
ノモノデアリマスケレドモ之ヲヤルトニナツテ居ル、其他ニハ一向補給  
ヲヤルト云フモノハ今日マデゴザイマセヌ、又目下ヤル見込ノモノモ別ニ  
ナイノデゴザイマス、若シ將來何處カ到底私設デハ出來ナイガ併シ寧ロ此部  
分ハ私設ニ任カシテヤリタイト云フ部分ガアリマシテ夫ニ付テ多少保護ヲ與  
ヘルト云フコトガアリマシタナラバサウ云フ問題ガ起ルカ知リマセヌガ今日  
ニ於テハ一ツモサウ云フコトヲ致サウト云フ考案ヲ持ッテ居ル所ハナイノデ  
ゴザイマス、夫カラ第二ノ工事ノ方法デゴザイマスガ是ハレハ幅員ニ付  
キマシテハ私設鐵道條例ノ政府ノ特許ヲ得タルモノ、外ハ總テ三尺五寸ガ即  
チ日本ノすたんだーニナツテ居リマス、夫デドウシテモ特許ヲ得ネバナラ  
ヌ、其特許ヲ得マス場合ト云フモノハ全クモウ往止リニナリマシテ是ヨリハ  
他ニドウシテモ延ビル見込ハナイ唯僅カ一少局部丈ケ運輸ノ用ニ供スルノデ  
サウシテ之ヲヤレバ大層地方ニ於テ利益ヲ受ケル、在リナガラ普通ノモノデ  
ハ資本ガ何分太キクナツテ出來ヌト云フ時ニハ全ク特別ノ場合デ特別ニ許可  
ヲ與ヘルコトニナツテ居リマスノデ大抵ナモノニハ幅ヲ狹クスルコトハ許サ  
ヌ方針デゴザイマス、夫カラ……

○子爵曾我祐準君 今般ノ提出中ニハ特許ヲ與ヘル様ナモノハナイノデゴザ  
イマスルカ

○政府委員(松本莊一郎君) 此中ニハゴザイマセヌ、夫カラレハ目方或  
ハ橋梁ノ強サト云フコトハドウカト云フコトハ幹線ニ接續シテ居ル部分ハ  
ナルベク政府ノ鐵道ノ工事方法ヲ標準トシテヤラセル方針デアリマス、山  
陽鐵道ノ如キハ全ク政府ノ通りデアリマス、又兩毛水戸モ總テ政府ノモノト  
同一ノ方法標準デ工事ノ方法工費ノ豫算ヲ定メテ居ル、是ハ私設鐵道條例ノ  
第三條ニ工事方法工費豫算書線路ノ平面トカ斷面トカ云フ様ナモノヲ總テ持  
出シマシタ時ハ十分ニ審査ヲ致シテ此線路ハ是丈ケノ勾配デアアルカヲシテ  
ウ云フ運輸ヲスルニハ是非是丈ケノ機關車ヲ使ハナケレバナラヌ、サウスル  
ト此機關車ニ對シテハ是レ丈ケノレハ必要デアルト斯ウ云フ様ナコトヲ  
審査致シマシテ此方法ヲ以テ認可スルコトニナツテ居リマス

○子爵曾我祐準君 一定ノ標準ハナイデスナ

○政府委員(松本莊一郎君) 其通りニシナケレバナラヌト云フ手本ヲコチラ  
カラハ示シテハナイノデ會社ノ方デ相當ノ箇條ヲ定メマシテサウシテ夫ノ設  
計ヲ以テ持出シタ所ノモノニ付テハ十分ノ所ガアレバ夫レ指示シテ此方

ラデ是ナラ差支ガナイト認メタ後デナケレバ許サヌコトニナツテ居リマス  
○子爵曾我祐準君 差支ノ有無ハ官線ト同重量ノモノニ堪ヘルモノト云フノ  
デアリマス、其差支ノ有無ト云フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(松本莊一郎君) 全ク差支ノ有無ト云フコトハ官線ノ通りニシテ  
置ケバ差支ナイト認メテ居リマス、所ガ多ク官線ノ通りセヌ場合ガアリマス  
例ヘバ讚岐鐵道ノ如キハアレハ輕イレハ使ツテ居リマス、併ナガラ此線  
路等ハ非常ニ平坦ナ線路デ機關車等モ輕イノヲ使フテ、寧ロ輕イ列車ヲ  
屢々往復スル方ガ重イ列車デ僅カ數回列車ノ往復ヲサセルヨリモ宜シイト云  
フノデ、サウ云フモノニ對シテハ幾分カ輕イレハ使フコトヲ許シテ居リ  
マス、其他唯今出來テ居ルノデ融通ノ出來ル丈ケハサウ云フコトニナツテ居  
リマス、將來官線ニ接續シ或ハ官線ノ一部分ナルヤウナ所ハ官線ト同シ重  
量ヲ以テ參ッテ私設デ差支ノナイヤウニ是非致スノデアリマス、例ヘバ是カ  
ラ後作リマスル即チ唯今注文ヲ致シテ居リマスル確氷嶺デ使フテ居ルあぶと  
式ノ機關車ナドハ或ハ五十噸ニ近イ目方ノモノガ出來テ來ヤウト思ヒマス、今  
用ヒテ居ル所ノ機關車ノ中デ一番重イノハ四十四噸位デアリマス、サウ云フ  
モノガ二ツ三ツモ連結シテ通ッテ差支ノナイ隅カラ隅マデ善イ橋ヲ作レト言  
ヘバ大分橋ヲ強クシナケレバナラヌ、併シ御承知モゴザイマセウガ速力如何  
ニ付イテ橋ノ耐ヘル力ガ大變違ッテ來マスカラ唯今出來テ居ル所ノ橋ナドハ  
夫等ノ機關車ガ何處デモ差支ナク通レルコトニナツテ居リマス、夫カラとん  
ねるノ斷面モ大抵大キサハ同ジコトニシテ置イテドノ機關車ガ參ッテモ煙突  
ガ邪魔ニナルトカ客車ノ戸ヲ開イテ置イタ所ガ一向差支ヘルナドト云フ様ナ  
コトハナイ積リデ將來モ亦成ルベク夫ト一定ノ標準ニヤラセル積リデアリマ  
ス

○子爵曾我祐準君 尙ホ確メテ置キタウゴザイマス、今ノ六十噸モアリマス  
ル様ナ機關車ヲ繋イテ置イテ之ヲ分離セヌデモ橋ニ迷惑ヲ掛ルヤウナコトハ  
アリマセヌカ、二ツノモノヲ一ツニシテ一凝リノ一番重イモノガ通レルト云  
フコトガ事實ニ於デアリマス、兎モ角モ豫定線ノ一部或ハ其他ニ於テモ私  
設トシテ許ス鐵道ガ官線ニ堪エ得ルモノヲ私設ノ鐵道ヘ持ッテ往ツタ時分ニ  
此物ガ弱イカラハ一言ハハ一列車デ來タモノヲ二列車ニシナケレバナラヌト  
云フ……併シ夫ニ付テハ何カ標準ガ立テ得ルモノデハナイカト素人ナガラ考  
ヘマス

○政府委員(松本莊一郎君) 夫ハ標準ハ立テ得ラレル様ニ考ヘマス、既ニ英  
吉利デハ夫ノぼるどういといノ規則ト云フモノガアリマシテ色々標準ヲ定  
メテアリマス、ケレドモ其標準ト云フモノハ例ヘバ鐵道アレバ橋ニ使フノハ其  
斷面ノ一方付ニ付イテ何噸マデノ力ノアル鐵ヲ使ハナケレバナラヌト云フ様  
ナ標準ヲ重ニ定メテアリマスガレハ、夫デ獨逸ノ如キハ必ズ幾ラナケレバナラヌト云  
フコトハ定メテナイノデゴザイマス、夫デ獨逸ノ如キハ最モ立派ニ其鐵道ノ  
組合見タヤウナ所デ定メタ標準ガゴザイマス、夫等ノコトハ日本デモ定メル

方ガ宜カラウト思ヒマスガ未ダ定メテゴザイマセヌ、夫デ追々私設鐵道條例  
ニ附帶スル遞信省ノ條例デモ發セラレテサウ云フモノヲ定メタイト云フ希望  
ヲ持ッテ居リマス

○委員長(公曾近衛篤磨君) 是ハ矢張り軍事ニモ必要デゴザイマス、カ  
○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ兩方共千葉カラ木更津ニ至ルト云フノモ夫  
カラ其次ノ項ニ在ル久留米カラ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ルト云フノモ兩  
方共軍事ノ必要カラ豫定線ニ舉ケマシタノデ是ハ敷設法ノ出來マスル時ニ陸  
軍ノ方ノ委員達ガ主張サレテ出來タ線路デゴザイマス

○委員長(公曾近衛篤磨君) サウスルト斯ウ云フ小サイ會社ヲ澤山起シテ此  
線路ヲ幾ツモ分ツト云フコトハ隨分不便デアラウト思ヒマス、勿論條件ヲ付  
ケテ敷設ヲ許スコトニハナツテ居リマスガ不便利デアルカラ之ヲ許可スルノ  
ハ或ハ迂遠ナ策デハナカラウカト考ヘテ居ル

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ千葉ヨリ曾我町ニ至ルノハ是丈ケ申スト大  
變短イ線路デゴザイマス、曾我町カラ大網ヘ出テ大網カラ茂原、一ノ宮ニ  
至ル房總鐵道ノ一部分デ房總鐵道ノ一部分ハ唯今出願シテ居リマス、千葉マ  
デハ總武鐵道ガ出願シテ居リマスカラ之ヲ許サスト夫ノ鐵道ニ誠ニ僅カナ部  
分ノ切賣ヲスルコトニナツテ已ムヲ得ヌ次第二ナツテ居リマス、夫故ニ斯ウ  
云フ條件ヲ付シテ置ク方ガ宜カラウト云フ考デゴザイマス、其次ニ山鹿ノ方  
ハ夫ヨリハ長フゴザイマス

○委員長(公曾近衛篤磨君) 如何デスカマダ御質問ガゴザイマス、カ  
○尾崎三良君 チョット政府委員ニ質問致シタウゴザイマス、此「千葉縣下  
千葉佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ木更津ニ至ル鐵道線中千葉縣  
下千葉ヨリ曾我町ニ至ル鐵道」トアリマス、其間ハ極ク僅カデスガ是ハドレ程  
哩數ガアリマス、カ

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ三哩七十鎮、チヨット四哩デス  
○小室信夫君 是丈ノ願出ガアルノデゴザイマス、カ  
○政府委員(松本莊一郎君) イヤサウデハゴザイマセヌ、是ハ房總鐵道ガ曾  
我町カラ大網ヘ出デ九十九里ノ濱マデ參リマスノデゴザイマス、夫カラ千葉  
ニ參ッテ總武鐵道ト連絡スル線デ極ク必要ナ線デゴザイマス、夫カラ鐵道ノ連絡  
上カラ申セハ勸メテモヤラセタイ線路デゴザイマス

○尾崎三良君 モウ一ツ伺ヒタウゴザイマス、此「山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ  
至ル鐵道線路中熊本縣下山鹿ヨリ植木ニ至ル鐵道デゴザイマス」ガ此哩數ハド  
レ位アリマス、カ

○政府委員(松本莊一郎君) 夫ハ十哩程ゴザイマス  
○子爵曾我祐準君 モウ一ツ御尋シタウゴザイマス、此相當ノ條件ヲ付スル  
ト云フコトデアリマスガ相當ノ條件ト云フノハ相當ノコトデアアラウガドン  
ナコトヲ云フノデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ其會社ガ此部分ノ建設費丈ケハ初カラ帳簿

ヲ別ニシテ置カナケレバナラヌトカ或ハ其建築費ニ對シテ何時タリトモ検査官ガ出テ帳面ヲ調べルカラト云フ様ナコトニシテ置イテ、要スルニ建設ノ實費ハ何時デモ明確ニ分ル様ニスルト云フコトヲ意味シタモノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 買上ゲニ付テハ何倍ヲ限ルト云フ條件ハ付テナイノデスカ  
○政府委員(松本莊一郎君) 夫ハ唯實費丈ケデ買上ゲルノデゴザイマス  
○委員長(公爵近衛篤磨君) マダ御質問ガゴザイマス  
○子爵曾我祐準君 私ハモウゴザイマセヌ  
○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ之ヲ別ニ修正スルノ御意見デモゴザイマスカ

○尾崎三良君 是ハ年限ヲ限ッテ許スト云フコトニナッテ居リマス  
○政府委員(松本莊一郎君) 年限ハ別段ニドノ會社ニモ付シテナイノデゴザイマス、御承知ノ通り唯私設鐵道條例ニ免許狀下付ノヨリ二十五年後ニ於テ政府ハ何時タリトモ買收スルコトガ出來ルト云フコトガアリマス、夫故ニ斯ウ云フ條件ヲ付シテ置イタラ二十五ニ充タズシテ本線路ヲ全部敷設スルコトノ出來ナイモノハ何時デモ買上ゲルコトガ出來ルノデアリマス  
○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハモウ採決致シマス、雙方共別ニ御意見ガナケレバ兩方共ニ一處ニ決ヲ採リマス、別段諸君ニ御意見ガナケレバ可決ト見テ宜シウゴザイマス  
(異議ナシト呼ブ者多シ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 可決シマシタ次ニ乙號  
(朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一新潟縣下新津ヨリ福島縣下若松ヲ經テ白河本宮近傍ニ至ル鐵道  
一兵庫縣下姫路ヨリ生野若クハ笹山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル鐵道

鐵道若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線  
中兵庫縣下生野ヨリ和田山ヲ經テ京都府下綾部ニ至ル鐵道

一福岡縣下飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道

○子爵曾我祐準君 比較線ノ關係ハドウナッテ居リマス

○政府委員(松本莊一郎君) 此事ニ就テハ一應申上ゲテ置キマスガ比較線ノ決定ノ事ハ敷設法ノ第七條丈ケニアリマス即チ一期線ノ第七條ノ所ニ於テ「比較線路ハ政府ニ於テ更ニ調査ヲ遂ゲ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ決定スヘシ」ト云フコトガアリマスバカリデ第二條ノ豫定線ノ澤山掲ゲテアル所ニハ比較線決定ノ方法ガ掲ゲテナイノデアリマス、ソコデ第一期ノ方ニ掲ゲテアルモノハ何レノ線ヲ取ルト云フコトヲ一旦協贊ヲ經テ定メテ置テ之ヲ私設會社ニ許ストキニハ今一遍協贊ヲ經テ許スコトニナリマス、即チ京都線ノ如キハ一旦唯今京都線ノ方ヲ取ルト云フコトヲ決定ヲ請フテ其後又之ヲ私設ニ許ス

時ニハ再ヒ協贊ヲ經ルノデアリマスガ此二條ノ豫定線ノ方ハ何モ書ヒテアリマセヌカラドレデモ願ヒ出タ時ニ協贊ヲ經テ許スコトニシタノデアリマス、實ハ此點ハ餘程疑ガアッテ鐵道會議デモ委員ヲ選ンデ調査シマシタガ結局斯云フ風ニシナケレバナラヌト云フコトニナリマシタ

○小室信夫君 敷設法ノ見方次第デハ第一期線丈ケガ比較線ト見レバ宜イノデアリマセウ

○政府委員(松本莊一郎君) サウナッテ居ルノデアリマス  
○委員長(公爵近衛篤磨君) サウスルト飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道……

(圖面ニ付質問アリ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 此所ニ別ニナッテ居ルノハ分ッテ居リマスガ乙ト丙ト分ケタノハドウ云フ理窟デアリマスカ便宜上デスカ

○政府委員(鈴木大亮君) 左様便宜上デゴザイマス

○委員長(公爵近衛篤磨君) 線路ノ性質ニ依ッテ分タノデアリマス

○政府委員(鈴木大亮君) イエ鐵道會議デ早ク極ッタノデ先キニ出シマシタ式ケデゴザイマス

○尾崎三良君 日本ノ中ニハ勾配ノ三十分ノ一ニナッテ居ル所ハナイノデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 誠ニ僅カナ部分ガ北海道ニアッタノデアリマスガ夫ハ後デ少シ直シマシタケレドモ今拵ヘテ居リマス所デハ福島カラ米澤ニ越ヘル所ガ三十分ノ一デアリマス

○尾崎三良君 アノ東海道ノ箱根近傍ハ急ナ所ハドノ位アリマス

○政府委員(松本莊一郎君) 四十分ノ一ノ所ガアリマス

○尾崎三良君 アレデモ上ルニハ餘程早メテヤルノデアリマセウ

○政府委員(松本莊一郎君) 左様早メテヤリマス、外國ニハ二十五分ノ一ニ六分ノ一ノ所ガ澤山ゴザイマス、墨西哥ノめきーかんめーよんと云フ様ナ所ノ線路ハ二十六七分ノ一デズツテ居リマス

○子爵曾我祐準君 廣軌道ト狹軌道トハドツチガ無理ガ仕易フゴザイマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 夫ハ廣イ方が無理ガ仕易イデス

○委員長(公爵近衛篤磨君) 採決致シマス御異議ガナクバ是ニ決シマス  
(異議ナシト呼ブ者多シ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ是ハ決シマシテゴザイマス、夫カラ丙號  
(朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一新潟縣下直江津ヨリ新潟及新發田ニ至ル鐵道

一京都府下京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道

一奈良縣下高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道線中五條ヨ

リ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道

一福井縣下敦賀ヨリ石川縣下金澤ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道線ヨリ  
分岐シテ石川縣下七尾ニ至ル鐵道

一東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道線中千葉縣  
下佐倉ヨリ銚子ニ至ル鐵道

一茨城縣下水戸ヨリ福島縣下平ヲ經テ宮城縣下岩沼ニ至ル鐵道

一奈良縣下奈良ヨリ三重縣下柘植ニ至ル鐵道

一兵庫縣下姫路ヨリ生野若クハ笹山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル  
鐵道若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線

中兵庫縣下谷川ヨリ笹山及谷川ヨリ京都府下福知山ニ至ル鐵道

一福島縣下福島近傍ヨリ山形縣下米澤及山形秋田縣下秋田青森縣下弘前  
ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ山形縣下酒田ニ至ル鐵道

○子爵曾我祐準君 質問ヲ致シマス、此線ハ越後ト東京トノ連絡ニ大ニ關係  
ヲ持チマス線デアリマスガ所謂上越線、アノ線ハ逆モ出來ナイト云フ御見込

ニナツテ居リマスカト云フコトヲ御尋申シマス、夫ハ何故ト云フニ此米山ノ  
下ヲ通ル所ニ於テハ關係ハナイケレドモ越後ノ平野ニ往ッテカラ即チ長岡

近傍ニ往ッテカラ殆ド一線ニ歸スル譯デアリマスカラ上越線ヲ成立タセムトスレバ  
ヲ許可サレテハ逆モ引合ヘヌ話デアラウカラ上越線ヲ成立タセムトスレバ

ウシテモ越後ノ平野……長岡新潟間ヲ之ニ加ヘヌト利益ノ點ニ於テ引合ハヌ  
コトニナラウ、上越線ヲ成立セムトスレバ長岡近傍カラ新潟マデハ上越線ヘ

クツ付ケナイト利益ノ點ニ於テ引合ハヌト思ヒマスカラ上越線ニ付テノ御意  
見ヲ伺ヒマス

○政府委員(松本莊一郎君) 上越線ハ固ヨリ出來ナイトハ思フテ居リマセ  
ヌ、唯北越線ノ三ツノ比較ニ付キマシテハ上越線ハ殆ド一千万圓ヲ少シ超シ

マス程ノ工費ニナリマス、直江津線ハ四百七十萬圓バカリデゴザイマス、此  
工費ノ點ニ付テ大變相違ガアルノト工事ノ點モ上越線ノ方ハ殆ド三哩ニ近イ

様ナ長イと云ふるヲ穿タナケレバナラヌ越後ト上州ノ境ヲ越ヘル所ハムヅカ  
シイ所デアリマス、又運轉上ニ付テモ雪ノ困難カラ申シマシテモ上越線ガ三

ツノ中デ最モ難所デアッテ豐野線ガ之ニ次ギ直江津ガ一番工事ガ仕易イト云  
フ様ナコトデモアリ、又上越線ハ局部ノ營業上ニ付テモ誠ニ運輸ト云フモノ

モ少ナイ部分ガ長イ間アルノデ、即チ上州ノ沼田近傍ヲ離レテ北越後ニ這入  
リマシテ小千谷ノ近傍ニ至ル間ト云フモノハ多少村ハ其間ニアリマスケレド

モ誠ニ酷イ山間バカリヲ通ッテ居リマス、其部分ハ停車場カラ停車場ヘ乗ル  
所ノ客ダノ或ハ貨物モ夫カラ輸出スルモノハ澤山ハナカラウト思ヒマス、鐵

道ノ經濟上カラ申スト餘程詰ラナイ線路デアラウト思ヒマス、サウシテ東京  
トノ距離ノ關係ヲ申スト新發田ヲ假リニ一ノ點ト致シテサウシテ東京ヘノ距  
離ヲ申スト上越線デ參ルト二百四哩位デ參レルシ、豐野ノ線デ參ルト二百  
六十八哩半バカリデアリマスカラ上越線ハ著シク其中デハ近クナルノデ直江

津ト豐野ハ僅十哩バカリカ違ヒマセヌケレドモ上越線ハ殆ド五十餘哩バカリ

豐野ニ比ベテ近クナルカラ直江津ニ比ベルト凡ツ六十餘哩近クナル、併ナガ  
ラ是ハ陸軍政府委員ノ御方モ御話ニナラウト思ヒマスガ一方ノ郡山カラ若松

ヲ經テ參ルノガアル、アレトノ比較ヲ取ッテ見ナケレバナラヌ、所ガアレガ  
東京カラ矢張り新發田マデ參ルニハ二百五十三哩ゴザイマス、夫デ直江津

カラ參ルヨリハ新發田ヲ目的ニシマスレバ少シ近クナル、サウシテ合セテ是  
ハ仙臺トノ關係上ニ於テモ大層便利ノ線路デゴザイマスカラ、若シ軍事ノ必

要ト云フ方ノ論ヲ眼目ニ致シマスレバ、線路ガ出來マスレバ、線路ハ  
非常ニ役ニ立ツコトニ承知シテ居リマス、夫カラ一般ノ經濟上カラ云フト

固ヨリ直江津、上越ト云フ様ナモノハ比較線ニナツテ居リマスガ其實緩急ノ  
比較線デアッテ甲ガ出來レバ乙ガ入ラナイト云フ様ナモノ、中ニハ這入ラヌ

ト存シテ居リマス、即チ目的ヲ九段異ニシテ居ル法律上デハ一方ガ消エルヤ  
ウニナリマセウケレドモ事實ノ上ニハ一方ヲ採ッテモ一方ガ他日入ラヌト云

フヤウナコトニハナルマイト思ヒマス、緩急ノ比較ヲ申シマス……先ヅ  
仕易イ方ヲ先キニ拵エテ往クノガ順序デアラウト思ヒマス、直江津ハドウカ

ト云フト是モ同一ナ標準デ取調ベノ結果ニ依ッテ收益ノ割合ガ百分ノ二分四  
厘六毛ト云フコトニナツテ居ルデアリマス、併シ此鐵道廳デ段々調ベマシ

タモノハ餘程用心シタモノニナツテ居リマスガ實際ハモウ少シ宜シウゴザ  
イマシテドウカ斯ウカ損ノ往カヌコトニナラウトハ思ヒマスガ大層利益ノ多

イ線路ノ中ニハ數ヘ込ンデ居ラヌデアリマス、夫デ其中カラ又善イ所ヲ採  
リマシテ上越線モ大變宜シイカ如何デアリマセウカ隨分案ジラレルモノデア

リマス、一方ノ直江津線モ出來カネルコトニナリハセヌカト云フコトモアリ  
マセウシ現ニ直江津線願ガ此地方カラアリマシタガ同ジ出願書デ即チ濫

澤榮一君ナドガ這入ッテ居リマスガ二十一年頃デアリマシタ、何デモ五六年  
前ニ出願シタコトガアリマシタガ其時ハ四分ノ保護ヲシテ呉レ、バ直江津カ

ラ新潟マデヤレルト云フコトガアッタ位デ、サウスルトア、云フ實業ノ方ニ  
大分目ヲ注イテ居ル人ガ商賣上銳キ眼ヲ持ッテ居ル人ノ方デモ大層ナ利益ハ

ナイト見テ居ッタラウト見ヘマシテ到頭沙汰止ミニナリマシテ一遍消滅シマ  
シタノガ今般又改メテ願フテ出來タノデアリマス、既ニ豫定線ニモ三本比

較ニナツテドレカ一ツヲ採ルト云フ様ニ一期線ノ比較ニナツテ表ニ極メデア  
リマスカラ直江津ト極リマシタレバ直江津ニ許スノガ一番順序上宜カラウト

考ヘルノデゴザイマス

○委員長(公爵近衛篤磨君) チョット東京カラノ距離ノ哩數ヲ伺ッテ置キマス

○政府委員(松本莊一郎君) 上越線ガ二百四哩十四鎖、夫カラ豐野線ガ二百  
五十八哩五十七鎖、直江津線ガ二百六十八哩五十五鎖、岩越線ガ二百五十三

哩六十二鎖デゴザイマス  
○子爵曾我祐準君 私ハ此線ニ付テハ少シ意見ヲ述ベタウゴザイマスガ今日  
ハ是カラ參内致サナケレバナリマセヌカラマタ此點ニ付テハ質問ヲ致シタイ

コトガアリマスガ残念ナガラ是デ退席致シマス、此線ニ付テハ餘程承リタイ  
コトガアリマスケレドモ致方ガゴザイマセヌガ、サウ急ガヌコトナラ私一個  
ノ事由ヲ以テ一種ノ公務デハアリマスガ此會議ヲ御延シ下サレト云フ請求ハ  
致シ惡ウゴザイマスガ大體ノ意見ヲ申シマスナラバ此會議デハ必ズシモ是ハ  
御決シニナラヌデモ宜カラウト思ヒマス、軍事上ニ取テハ無論上越線ガ一番  
宜カラウト思ヒマスシ又運輸ノ點ニ付テ色々政府委員ノ御説明ガアリマシタ  
ケレドモ此直江津ト新潟ノ間ト云フモノハ半年以上ハ海路ノ便ト云フモノガ  
ゴザイマスシ、夫カラ又軍事上カラ見ルト直江津線ヲ引付ケルト其續キニハ  
碓氷ノとんねるト云フ難義ガアル、斯ウ云フ譯ニナツテ居リマスカラ上越線  
ノ方ガ軍事上ノ點ニ取ツテモ餘程宜カラウト思フ、勿論岩越線ガ果シテ出來  
マシタナラバ東京ヘ引付ケルニ付テハ今政府委員ノ説明サレマシタ通り餘計  
ノコトハナイ様デアリマスガ、夫ハ新潟ナリ新發田ナリ……越後ノ中心ハ新  
發田ノ方ヨリ却ツテ長岡ニアルト云フコトデアリマスカラ軍事上ノ點ニ付テ  
ハ何處マデモ上越線ガ一番宜イト存ジマス經濟ノ點ニ付テモ舊來山越シニ  
運シタ所デアツテ丁度上ト越トハ山ヲ一ツ隔テ、昔カラ商法モ盛ンナ所デ  
アツテ東京ニ向ツテ持ツテ來ルモノハ新潟ノミナラズ變リハアリマセヌガ、  
越後ノ產物ハ必ズシモ新潟ノミデ生ズルモノデナク即チ長岡近邊カラモ出ル  
モノデアリマスカラ經濟ノ點ニ於テモ私ハ矢張り上越線ノ方ガ便利ト思ヒ  
マス、併シ今日之ヲ可決スルト云フコトハ出來マスマイガ願クハ諸君ニ希望  
シマスガ更ニ他日御協議ニナルカ或ハ今日此案ニ向ツテハ未決ニシテ置カレ  
ルコトヲ希望致シマス

○尾崎三良君 此上越線ハ前橋線デスナ  
○政府委員(松本莊一郎君) 左様デス  
○尾崎三良君 所ガ是ハ今度ノ議案ニハ出テ居ラヌノデスネ  
○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ議案ノ必要ハ原案ノ通り決スレバナクナル  
ノデス  
○尾崎三良君 是ハ比較線ニナツテ居ルノデスカ  
○政府委員(松本莊一郎君) 左様デゴザイマス  
○尾崎三良君 原案ノ通りニ決スレバ是ハ比較線デモ何デモナイカラ相當ノ  
手續ヲ經テ出願スレバ許サレルノデスナ  
○政府委員(松本莊一郎君) 許スコトヲ得ルノデス  
○尾崎三良君 是ハマダ願ツテ來テ居ラヌデスカ  
○政府委員(松本莊一郎君) 願ツテ居リマス  
○政府委員(松本莊一郎君) マダ此事ニ付テハ一向意見モ定メズ別ニ鐵道會  
議ニ諮詢スルト云フ運ヒニモ何ニモナツテ居ラヌノデス  
○小室信夫君 是ハ如何デゴザイマス、是ガ出來マシテモ上越線ガ願ツテ  
出テ上越線ガ出來マスレバ上越線ノ目的ニ達スルノデゴザイマス、上越線  
ノ後ノ利益ヲ計ル爲ニ今日決定シタル比較線路ヲ延バス必要ハアルマイと思

ヒマスカラ私共ハ此儘原案ノ通りニナリマシテ上越線ガ私設ヲ願出マシタ時  
分ニ又之ヲ許シテ宜シイト思ヒマス、越後ノ平云々ト云フコトモゴザイマス  
ガ是カラ意向ヲ定メルコトニ付イテ既ニ鐵道會議デモ通過ヲ致シ今日衆議院  
ヲ通過ヲシテ出テ參ツテ居リマスル此北越線ヲ止メルト云フコトハ一向理由  
ハナイト思ヒマスカラ私ハ原案ヲ贊成致シマス

○尾崎三良君 今會我子爵ヨリノ御話シニハ軍事上越後ノ中心カラ東京ヘ連  
絡ヲ付ケルニハ上越線ガ宜シカラウト、サウシテ此北越ノ方ノ線路ハ今此所デ  
決スルニ及バヌト云フ御説デゴザイマシタガ是ハ政府デ急イテ設ケルノト云  
フノナラバ其邊ヲ考ヘテ緩急ヲ計ツテ急ナ方カラ先キニシナケレバナラヌト  
云フ必要ガアルガ是ハ人民ガ願出テ夫レニ許スト云フコトデアレバ何モ差支  
ハナイコトト思ヒマス、夫デ是ハ此所デ決定致シテ然ルベキモノデアラウト  
思ヒマス

○子爵堀田正養君 本員モ矢張り小室君尾崎君同様ノ考ヘデアリマス、此上  
越線ガ軍事上必要云々ト云フ曾我君ノ御説ガアリマシタガ詰リ是ハ比較線ヲ  
極メテ、三本アル比較線ノ中一本先キニ極メルト云フコトデアレバ是ガ比較  
線ト極ツタ以上ハ他ノ上越線ナリ何線ナリ出願スルモノニ向ツテ相當ノ手續  
ヲ經テ出願スルモノハ差支ナク鐵道廳デ許サレルト云フコトガ出來ル、併シ  
是ガ若シモ極メテ置カナイデ何時マデモ帝國議會ノ協贊ヲ經ナケレバドノ線  
路モ許スコトガ出來ナクナツテ居ルト鐵道ノ發達上妨ゲヲナスデアラウ、且  
又此線路ノコトハ曾我子爵ノ言ハレル通り軍事上強イテ必要デナイト云フナ  
ラバ寧ロ私設ニ許スガ必要デアルト見タ以上ハ此線路ハ私設デヤラセテ官設  
デ上越線ヲ敷イテモ宜シイ、法律ニ加ヘテ夫デ官線ヲ敷クトスレバ一向差支  
ハナイト思ヒマス、此線路ニ對シテ官ガ國庫ノ金ヲ費シタルノデナイ是ハ  
私設デヤラセルコトデアルカラ其邊ノ懸念ハナイト思フ、故ニ今日之ヲ極メ  
テモ將來大變國家ノ不利益ニナルコトハナカラウ、唯比較線ヲドチラニ極メ  
ルト云フ丈ケデ一向差支ナイト思フカラ本員モ原案ノ通り可決ニナツテ然ル  
ベシト思ヒマスカラ原案ヲ贊成致シマス

○政府委員(兒玉源太郎君) 本員ハ此比較線ノ軍事上ニ付テノ利害ヲ少シ述  
ベタウゴザイマスカラ御聽ヲ願ヒマス、此比較線路ハ直江津カラ長岡ヲ經テ  
新發田ヘ行クモノト豐野カラ長岡ヲ經テ新發田ヘ行クノト東京カラ前橋長岡  
ヲ經テ新發田ニ行ク所ノ即チ上越線トガゴザイマス、此三ツノ比較デアリマ  
ス、夫デ軍事上ヨリシテドウ云フ關係ヲ持ツカト云ヘバ無論東京ト越後ト云フ  
コト、仙臺ト越後ト云フ事トヲ考ヘナケレバナリマセヌ、サウスルト其目的  
ヨリシテ此三線ニ就テ利害ヲ述ベマスルト直江津線ハ即チ東京ヨリ碓氷ノあ  
ぶとヲ越ヘテ直江津ニ行キ直江津カラ柏崎迄ハ全ク海岸ニ露出シテ居リマス  
故ニ此線路ハ第一ニ軍事上カラハあぶとガ氣ニ入りマセヌト一ツニハ海岸  
ニ露出シテ居ルノヲ嫌ヒマス、次ニ豐野線ハ直江津線ニ比スレバ海岸ヲ遠ザ  
カッテ居ル點ハ宜シイガ奈何セン矢張り碓氷ノあぶとノ害ヲ蒙ルコトハ免レ

ナイノデアリマス、夫カラ上越線ナラバ先ツ碓氷ノあぶとヲモ經過セズ、又海岸ヲモ通りマセヌ、併ナガラ東京ト新發田トノ關係ハ宜シイケレドモ仙臺ト新發田ト云フ事ニナルト非常ニ迂迴シナケレバナラヌ、即チ仙臺ヨリ日本鐵道會社線ニ依ッテ小山迄行キ兩毛線ニ依ッテ前橋マデ行キ、夫カラ上越線ヲ越エテ新發田ヘ來ルト云フト餘程ノ廻ハリニナリマス、此ノ如キ次第デアリマスカラ之ヲ第二期ノ豫定線ニナツテ居ル岩越線ト比較シテ見マスト即チ郡山ヨリ新津ヘ出テ夫ヨリ新發田ヘ出ル線ガ即チ岩越線デアリマスカラ是ハ東京ヨリ郡山新津ヲ經テ新發田ニ達シ又一方ハ仙臺カラ郡山新津ヲ經テ新發田ニ達スルモノデア東京ト新發田トノ關係ハ上越線モ岩越線モ格別ノ差ハアリマセヌガ仙臺ト新發田トノ關係ハ哩數ノ差ガ上越線ハ百五十七哩モ遠クナリマス、又曾我子爵ノ只今ノ御説ニ長岡ガ越後ノ中心デアルト言ハレタヤウニ承リマシタ、如何ニモ御尤デアリマス、是ハ中心デアラウ、併シ仙臺トノ關係ヲ見マスルト矢張り上越線ヨリハ岩越線ノ方が優ツテ居リマス、又東京ヨリノ關係モ大差ハナイト致シマシタ時ニハ軍事上ニ於キマシテハ越後ノ平原ニ出ルニハ岩越線ヲ以テ最モ適當ト斷定ヲ致シテ居リマス次第ゴザイマス

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ曾我子爵ノヤウナ御説モアリマスカラ此案ハ少シ面倒デアリマスケレドモ一ツ一ツニ決ヲ採リマセウ

○小室信夫君 此案ハ一ツ通りマセヌト全案通ラヌ譯ニナルデアリマスネ

○尾崎三良君 是ハ何モ他ノ案ノヤウニ其中ノ一條二條ト云フモノトハ違ヒマスカラ一ツ消エタカラ他ノ所迄影響スルト云フコトハナイデアリマセウ故ニ一ツ一ツ取ツタラ宜イ

○子爵松平信正君 是ハ議案ノ作り方が惡イカラ仕方ガナイ

○委員長(公爵近衛篤磨君) ドウモ不便ナ作り方デアアルカラ惡イモノガ一ツ潰レルト玉石混淆ニ善イモノモ否決サレテ仕舞ヤウニナル

○委員長(公爵近衛篤磨君) 決ヲ採リマセウ第一ノ直江津線ニハ原案ガ惡イト云フ御論ハアリマセヌカ

(異論ハゴザイマセヌト述フル者アリ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ原案ニ決シマス次ニ京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道ハ……

(異論ハアリマセヌト述フル者アリ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ次ハ奈良縣下高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道線中五條ヨリ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道、是モ論ガアリマセヌカラ原案ニ決シマス、次ハ福井縣下敦賀ヨリ石川縣下金澤ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ石川縣下七尾ニ至ル鐵道

(是モ宜シイト述フル者アリ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ次ハ佐倉ヨリ銚子ニ至ル鐵道

(是モ論ハナイト述フル者アリ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ次ハ水戸カラ平ヲ經テ岩沼ニ至ル線

貴族院鐵道比較線路決定ニ關スル法律案特別委員會速記録第二號

明治二十七年五月二十八日

七

○政府委員(鈴木大亮君) 是ハ常磐線ト云フテ日本鐵道會社ノ延長線デアリマス

○尾崎三良君 是ハドノ位ノ哩數デアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 百三十哩デアリマス、夫デ此線ニ付テ萬一御異論ガアルナレバ唯日本鐵道會社ニ海岸線モ中央線モ兩方共許シテハ會社ガ獨リデ占メルカラ擅横ヲ極メルデアラウト云フ御論ガアルカモ知レマセヌガ其他ニハ格別御論ノアラウ筈ハナイト思ヒマス

(異論ハアリマセヌト述フル者アリ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ次ハ奈良ヨリ柘植ニ至ル鐵道

(是モ論ハナイト述フル者アリ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ今度ハ兵庫縣下姫路ヨリ生野若クハ笹山ヲ經テ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道線中兵庫縣下谷川ヨリ笹山及谷川ヨリ京都府下福知山ニ至ル鐵道

○尾崎三良君 此阪鶴鐵道ニ就テハ色々議論ノアツタ様子デゴザイマスガ段々承ル所ニ依ルト此事ハ如何ニモ俄カニ極ツタ様ニ思ハレマス、是ハ元來一ツ所ヘ兩方ニ許スト二重ニナルカララカ一方ニセネバナラヌト云フ所カラ延期スルコトニナツタト云フコトデアアルニ夫ガ俄カニ斯ウ云フ様ニ兩方トモ許スト云フコトニナツタノハドウ云フ譯デアリマスカ其所以ヲ一通リ承リタイト思ヒマス

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ政府委員ニ於キマシテモ一ト通り精シク御話ヲ申上グルコトヲ甚ダ喜ブ方デゴザイマス、元來一昨年京鶴線ト土鶴線ノ調査ヲスルニ付キマシテ之ヲ擔當致シテ居リマシタ所ノ技師即チ仙石ト申シマスル者ガアノ調ベヲ致シマシタ時ニ法律上デハ土山カラ舞鶴ヘ往クモノト京都カラ舞鶴ヘ往クモノトノ比較ニナツテ居リマスカラ此二ツノ取調ヲ致セバ宜シイト云フコトニナツテ居リマシタケレドモ尙ホ其他ニ若シ之ヲ全部變更スルカ或ハ一部變更スル必要ガアルト云フ見込ガアレバ夫ヲ合セテ後來遺憾ノナイ様ニ取調ベテ置カナケレバナラヌト云フ考ヘデアリマシタ爲ニドウシテモアノ地方ノコトヲ段々取調ベテ見ルト大阪トノ關係ガ一番多イ、商業上ニ付テモ一般ノコトニ付テモ餘程大阪トノ關係ノ厚イト云フコトハ分ツテ居リマスカラ或ハ大阪ニ向ッテ一ツヤル線路ハアリハセヌカ、軍事上ハ暫ク措イテ經濟上ニ付テハ一ツ取調ベヌケレバナラヌト云フコトノ考ヲ立テタノデゴザイマス、是ハ獨リアノ線路ニ付テノミナラズ他ノ比較線ノ場合デモ若シ法律ニ規定サレテ居ル線路外モ竝ヘテ取調ベル丈ケノ必要ガアルト認メタ場合ニハ矢張り取調ベルコトニナツテ居リマスカラ多少ノ取調ハシテ見ヤウト云フ技師ノ考デ取調ベテ見マシタ所ガ如何ニモ生瀬ト三田トノ間ニ餘程工事ノ困難ナ場所ガアリマスカラ到底是ハ測量シテ見タ所ガ比較上立派ナ線路ニナルコトハムツカシイ且殆ト時日モゴザイマセヌ所ヘ持ッテ來テ一方カラハ一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

一期線ニ書イテアル丈ケノモノハ同一ニ調査ヲシテ第四期ノ議會ニ提出シナ

ケレバナラヌト云フ非常ニ取急ガレルノデ、即チ御覺ニモナッテ居リマセウ  
ガ昨年ノ一月ニ至ッテ夫等ノモノガ揃フテ衆議院へ出マシタ様ナコトデ終ニ其  
位ノ所デ一度斷念ヲ致シタノデ、然ルニ衆議院ニ於テハ調査ガ不完全デア  
カヲトモ一種々ナ理由ヲ以テ議場ヲ通過シテ議決スルト云フコトニナリマセ  
ヌモノデアリマシタカラ昨年再ビ或ル線路即チ中央線ノ如キモノハ其一部分  
ヲ再調査ヲナシ又其他ノ豫定線ニアリマスモ即チ京都カラ國部ニ出デ國部  
カラ横ギツテ姫路ニ至ル線路ハ鐵道廳デ調査ヲ致シマシタモノデアリマス  
ラ併セテ大阪ニ往クノハドウデアラウト云フノデモウ一遍見タイモノデア  
ルト云フ意思丈ケヲ持ッテ居リマシタ、夫ハ丁度時ハ能ク記憶致シマセヌケ  
レドモ何デモ昨年ノ七八月頃ト記憶致シマスガ其頃ニ攝津鐵道ト云フモノガ唯  
今ノ尼ヶ崎カラ京阪ノモノ丈ケハ既ニ伊丹ノ方ニ始終運轉ヲ致シテ居リマ  
シタガ、此攝津鐵道ノ延長ヲ更ニ後ニ願フテ其組合ノ人ガ三田ニ至ルモノヲ  
ルト云フコトヲ言ッテ參リマシテ、取調ベマシタ所ガ武庫川ノ上流デアリ  
マシタガ夫ニ沿フテ出ル所ハムヅカシイノデゴザイマス夫デ寧ロ之ヲ延バシテ  
代マデ出ル様ニシタラドウデアラウト云フテ遞信大臣ノ所ニ言フテ出タ人  
アリマシタ、コチラニモサウ云フ考ヲ持ッテ居ッタモノデアリマスカラ兎  
角實地ニ人ヲ派シテ調査シテ見ヤウト云フノデ即チ三田ト生瀬ノ間ノムヅ  
カシイ所ヲ取調ベテ見タ所ガ如何ニモムヅカシイニ違ヒナイ、稍箱根ノ山  
北ト小山ノ間見タ様ナ所デ澤山とんねるノ必要ナ場所デゴザイマス勾配ハ急  
デゴザイマスガ詰リムヅカシイモノトハ言フ條此間ニ向ッテ五六十萬ノ餘分  
ノ金ヲ投ズレバ通り抜ケルコトガ出來ル、併シ夫ヲ八代へ持ッテ往クハ面白  
クナイ線路デアリマスガ三田へ往カウト云フ所ハ一昨年ノ調査デハ是ハ容易  
ニ往ケルト云フコトハ分ッテ居ル、夫ニ加ルニ谷川カラ笹山ニ出ル線路ハ先  
ニ申上ゲマス通り國部カラ横ギル線路ハ一部ノ調査ガ出來テ居リマス、尙ホ  
進ンデ笹山カラ……

○委員長(公爵近衛篤磨君) チョット御演說中デアリマスガ鈴ガ鳴リマシテ  
今鐵道ノ議事ガ始マルコトニナッテ居リマスカラ……

○小室信夫君 冀クハアトガモウ僅カ二三條デゴザイマスカラ是丈ケ決シテ  
置キマシタラ今日ノ議事ニ上ルニ都合ハ宜クハゴザイマセヌカ

○委員長(公爵近衛篤磨君) 併ナガラ食後ニヤッテモ今日議事ニハ上ルノデ  
スサウシナイト議事ガ廻ッテ來タ時分……

○政府委員(松本莊一郎君) 成ル丈精シク皆サンノ御腹ニ這入ル丈ケ一申上  
ケテ置キタイト思ヒマス、隨分勝手次第ナ浮說流言ガ出テ居リマスカラ一  
通り歴史丈ケ申上ケテ置キタウゴザイマス

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ食後ニ再ビ開會致シマス  
午前十時三十五分休憩

午後零時三十分開會  
○委員長(公爵近衛篤磨君) 開會致シマス

○政府委員(松本莊一郎君) 午前ニ申上ケ掛ケマシタ續キヲ申上ケマス即チ  
坂鶴鐵道ト云フコトニ就テ申上ゲマス、既ニ申述ベマシタル如ク神崎カラ半  
田ヲ經テ笹山ニ出デ夫カラ福知山ニ行ク線路ノ中デ先キニ豫定線ノ中ニ脱ケ  
テ居リマシタモノヲ調査シマシテ即チ線路ノ難易如何ン若クバ經濟ノ點ニ於  
テ如何ン等ノ事ガ分リマシタ夫デ初ノ考デハ是ハ鐵道經濟丈ケニ取ッテハ餘  
程立派ナ線路デアラウト云フ考ヲ持ッテ居リマシタ、所ガ全ク調査ノ出來上  
タ後ニ其結果ヲ見マスルト意外ニモ土鶴線若クハ京鶴線ナドト甚シキ差異ハ  
ナイト云フコトヲ見出シマシタ即チ利益ノ點ニ於テハ僅カニ何厘ト云フ位ノ  
差デアッテ其點ニ於キマシテハ稍ヤ失望ヲシタ様ナ次第デアリマス、然ルニ  
丁度其調ベヲ了ッテ彼是サウ云フ事ノ比較上ノ得失ヲ講ジテ居リマス際坂鶴  
鐵道ガ出願シマシタ又一方ニ於テハ私設ヲ以テ舞鶴線ヲアラウト云フ出願ガ  
アリ、又夫ト同時ニ大阪カラ攝丹鐵道ノ出願ガ二ツアリマシタ、先達テ申上  
ゲマシタ所ノ神崎停車場カラ今既ニ一部分ノ運輸ヲ始メテ居ル攝津鐵道ノ如  
キ輕便鐵道ヲ延長スルト云フ攝丹鐵道ト又夫デナイ普通ノ計畫デヤルト云フ  
攝丹鐵道ト即チ同ジ方ニ行クノガ三ツ出願シマシタ、其中ノ後ノ分ハ初メハ  
八木ト云フノデアッタノヲ後ニ國部ト云フコトニ變更シマシタ、サウシテ政  
府ガヤルナラバヨシ、夫デナケレバ舞鶴迄許可シテ吳レ、バ全線皆ヤルト云  
フノデアリマス、斯ノ如ク私設ノ願ガ重ッテ來テ夫等ノ競争上カラシテ種々  
ノ事ガ生ジマシテ或ハ大阪市會ノ決議トナリ京都市會ノ決議トナリ夫カラ又  
商業會議所ノ問題トナリ遂ニ意見書トナリ陳情書トナッテ出マシテ中々ヤ  
カマシイコトデアリマシタガ要スルニ此線路デ一ツノ所ニ幾ツモ鐵道ヲ設ケル  
ノ必要ハナカラウカラト云フノデ、京都ヲ起點ニシテ國部カラ笹山ニ切ッテ  
出テサウシテ一方ハ舞鶴ニ行キ一方ハ後來但馬ノ方ヘ延バストシテ一ツノモ  
ノニシタラ利益ガアッテ宜カラウト云フ調ベヲシテ見マシタガ結局サウ云フ  
様ニ鏡ッテアラウト云フテ出願スル以上ハ、勿論如何ニ出願シテモ見込ノナ  
イモノハ許ス譯ニハ行キマセヌガ此處ニ二ツ出來タラドウカト云フト先キノ  
方デハ一處ニナリマスケレドモ其線路ノ由ル所ノ地方ハ別ノ所ヲ通ルノデア  
ルカラ坂鶴鐵道ト京鶴鐵道トガ福知山ニ出會フコトニナレバ格別利益ヲ殺カ  
スシテ成立ッダラウト云フ見込ニ歸著シマシタカラ坂鶴鐵道モ福知山迄ハ許  
スコトニシマシタ、サウシテ大坂ニ直進スル便利ヲ與ヘ、又一步進ンデハ福  
知山ニ至ル中間ニ於テ隨分相應ナ人口モアリ物產モアル所ガアリマスカラ是  
等ノ地方ニ便利ヲ與フルガ宜カラウト云フコトニナリ、又一方ノ京都起點ノ  
分モ之モ一期線ノ中ニ這入ッテ居リマスカラ許可シテ宜カラウト云フコトノ  
議論デ鐵道會議ニ諮詢ニナリマシテ會議デモ可決ニナリマシタ、元來其前ニ  
ハ色々ノ意見モアッテ遞信大臣ナドモ福知山カラ先キハ山陰ノ見込ノ定マ  
タ上デ許スコトニシヤウト云フ意見モアッタノデスガ遂ニ和田山迄許サウト  
云フコトニナッテ今日此案ガ出サレタ次第デアリマス、尙ホ御尋ガアレバ申  
上ゲマスガ大體坂鶴鐵道ノ生レタ前後ノ事夫カラ今一ツ遡ッテアノ邊マデ調

査スルノ必要が生ジタト云フ歴史式ケヲ申上ゲテ置キマス

○尾崎三良君 御話ニ依ッテ坂鶴鐵道ノ生レ出タコトハ略ボ分ツタヤウデア  
リマスガ承ル所デハ鐵道會議デハ既ニ一旦坂鶴鐵道ハ調査ガ尙ホ不十分デア  
ルカラ今度ノ議會迄延バスト云フコトニナッテ一旦撤回ニナッテ居タモノ  
ヲ其後一二日ヲ經テ俄カニ復政府カラ出シタト云フコトデアリマスガ夫ハ前  
ノ案ト後ノ案トハ違フノデアリマスカ或ハ同ジ案デアリマスカ伺ヒタイ、夫  
カラ又一旦鐵道會議デ決マッタモノヲ一日ノ後ニ出スト云フコトニナッ  
ノハドウ云フ往掛リカラ出來タコトデアリマセウカ

○政府委員(松本莊一郎君) 其事モ併セテ申上ゲルト宜カッタノデアリマス  
ガ、ツイ申殘シマシタ、夫ハ坂鶴鐵道ヲ延期スルト云フ決議ニナッテハド  
ウ云フ事情カト云ヘバ要スルニ坂鶴鐵道ハ但馬ノ八鹿ト云フ所マデヤリタイ  
ト云フ出願デアリマシタ、夫デ一方ハ矢張り舞鶴ニモ行キタイト云フ願ヒデ  
アリマシタ、ソコデ企業者ガ其考デアルノヲ福知山デ切ッテ仕舞ッテ此處迄ヲ  
許スト云フコトニシタナラバ企業者ノ目算ガ變テ來マスカラ、サウ云フコト  
ナラバ私ハヤリマセヌト云フカモ知レナイ、ソコデ是ハ急イデ議決シテモ効  
ハナイカラ延期ニシテ置ケバ若シ企業者ガ其趣意ヲ聞テ模樣換ヲシテ來レバ  
格別、夫デナイト今直ニ議決シテモ何ンモナラヌデハナイイカト云フノガ延  
期論者ノ理由デ延期ニナッテデアリマシタ、所ガ其後又直ニ議決シテ置カウ  
ト云フ論ヲ持出シタ人モアリ彼是シテ其後ニ至ッテ坂鶴鐵道ノ企業者カラ福  
知山迄デモ宜イカラ許可シテ吳レロト云フ追願書ノ様ナモノヲ更ニ提出シマ  
シタカラ前申ス延期ノ理由トシタ所ノ障礙ガ自ラ除カレタノデアリマス、夫  
デ法律ニ關係ノナイモノナラバ宜イガ法律ニ關係ガアッテ議會ノ協賛ヲ經ナ  
ケレバナラヌモノデアリマスカラ若シ此議會テ延バセバ次期ノ會マデ延ビル  
譯ニナリマスカラ此處デ決シテ置クガ宜イト云フコトデ再ビ會ヲ開イデ諮詢  
シマシタ所ガ可決ニナリマシタカラ其結果デ此案ガ出テ來タ次第デゴザイマ  
ス

○尾崎三良君 サウスルト延バサウト云フタノヲ聞テ追願ガ出テ來タ譯デア  
リマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 其通りデアリマス、新聞紙ニ直ク出マシタカラ、  
鐵道會議ハ秘密トハ云ヒ乍ラ御承知ノ通りヨク新聞ニ出マスカラ……

○尾崎三良君 夫カラモウ一ツ御尋ネシタウゴザイマスガ此私設鐵道ノ調査  
ト云フモノガコサイマスネ、是ハ入費ガ幾ラ掛ッテ哩數ガドレ丈アルト云フ  
コトハ……是ハ此中ニハ阪鶴鐵道ノ調査ト云フモノハナイ様デスネ

○政府委員(鈴木大亮君) アッタ様デス

○尾崎三良君 サウスルト是ハドノ位デアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) チョット申上ケマスガ、神崎福知山間ハ哩ガ六  
十三哩程アリマス、夫カラ建築費ハ四百二十万圓デゴザイマス

○尾崎三良君 是ニ對スル收入ハドノ位デアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 營業收入ハコチヲノ調査ノ結果デハ三十三万九  
千圓バカリデゴザイマス

○尾崎三良君 サウスルト純益ハドレ程アリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 純益ハ五分程ニ當リマス

○尾崎三良君 京都ノ方ハドノナモノニ當リマスカ、京都舞鶴間ノハ五分五  
厘トカ云フコトデアルデスネ

○政府委員(松本莊一郎君) サウデス

○尾崎三良君 併シ是ハ一方丈ノ積リデセウ、兩方ニナルトドウデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 京都舞鶴間及ヒ味方ト福知山ノ間ト是丈ケヲ切  
リマシタモノガ四分六厘程ノ調ベニナッテ居リマス、所デ斯ウ云フコトヲ一ツ  
御參考迄ニ申上ナケレバナリマセヌ、先刻丁度飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道ノ時  
ニ私が申上ケマシタ様ニ福知山カラ向フノ方ヲ若シ京都鐵道ガ持ッテ居リマ  
スレバ福知山カラ向フノ方ガ京都若クハ大阪へ來ルト夫ハ一ツノ手デ支配シ  
テ居ルト其方ヘ引付ケテ來ルカラ宜シイト云フノデアリマスガ此調査ノ中ニ  
ハサウ云フ考ヲ入レヌ調査デ極公平ニ……語ニ弊ガアリマスガ何ニ構ハズ一  
哩デモ近イ方ニ通シテヤルト云フコトニシタナラバ不公平ナル調デアリマセ  
ウガ實際ニ付テ監督シテ運輸スル人ノヤリ方ニモ依リ先キヲ持ッテ居レバ自  
ラ計算ガ變ッテ來ナケレバナリマセヌ、其邊ノ入組ンダコトニナルト連モ豫  
メ計算スルコトハ出來ヌノデゴザイマスカラ單ニ今現ニ分ッテ居ルモノニ付  
テ計算シタ結果ヲ申上ケレバ今申ケタ通りデゴザイマス

○尾崎三良君 福知山カラ和田山ノ間ト云フモノハアレハドウナッテ居リマ  
スカ

○政府委員(松本莊一郎君) 夫ハ出來テ居リマス、福知山カラ八鹿ノ間デ調  
ベマシタノガゴザイマス、綾部カラ和田山迄調ベタノモゴザイマス即チ京都  
舞鶴ノ間ヲ一ツノ枝トシテ綾部カラ和田山ト是丈ケデ大抵御分リニナラウト  
思ヒマス

○尾崎三良君 福知山カラ八鹿マデハドノ位デアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 二十六哩ゴザイマス

○尾崎三良君 サウスルト和田山カラ八鹿マデハ六哩デスナ

○政府委員(松本莊一郎君) 其割合デゴザイマス

○尾崎三良君 其間ノ工費ハドノ位掛リマス

○政府委員(松本莊一郎君) 福知山八鹿間ガ百八十五万圓デゴザイマス  
○政府委員(公倉近衛篤磨君) 會議ノ時間モ段々迫ッテ來マスカラ御質問ガ濟  
ミマシタナラバ採決ヲシマス

○尾崎三良君 私ハ別ニ意見ハゴザイマセヌ

○子爵曾我祐準君 チョット伺ヒマス、決ハドウ採リマス

○委員長(公倉近衛篤磨君) 一々別ニ採リマス

○子爵曾我祐準君 私ハ此條ハ一項除クベシト云フ論者デアリマス

○小室信夫君 此線路ニ付キマシテハ唯今政府委員カラ御説明ガゴザイマシタ通りノ有様デアリマス、マア先日述ベマシタ如ク唯今政府委員カラ御説明ニナリマシタガ今一ツノ理由モ含シテ居リマス、其理由ト云フモノハ攝但線ハ大變大阪市内デ競争ガ始マリマシタ、夫カラ誠ニ競争中ノ最モ激シイ競争線デアッタモノデスカラドウゾ我々ハ鐵道ト云フモノヲ餘所ニシテ考ヘテ見ルト鐵道ノ爭ヒカラ大阪府下ノ紳商ガ二分シテサウシテ氷炭相容レザルヤウナ有様デ大阪府ノ前途ニ取リマシテ甚ダ歎ハシキ次第デゴザイマスカラドウゾ成丈ケ仲裁ノ勞ヲ執ツテ雙方協議シテ經メテ付ケタイ、付テハマア大キク言ヒマスルト京都線ト雖モ其話ノ模様ニ依ツテハ三線路ノモノガ合同シテ一ノ線路ヲ延長シテ往ク都合ニシテ往キタイト思フテモ如何セン京都ノ線路モ競争ノ一線ニ居リマシタモノデアリマスカラ飛込シテソナ取扱ヲ致シ惡イ様ナ勘定デアリマスカラ其中ニ京都ノ線路ガ決定シマシタナラバ即チ競争ノ中ヲ脱シマスモノデゴザイマスカラ脱シマシタ以上ハドウゾ大阪ヘ立歸ッテ雙方ノ爭ヒヲ丸ク纏メタイト云フ様ナ精神ヲ持ツテ居リマシタカラ後會マデ之ヲ延期シテ置イテ其間ニ仲裁ノ勞ヲ執ツテ見タイト云フ精神モアリマシタ、併シ夫モ思ツタバカリデ勢ヒ今日ニナツテハ陳腐ナ譯デゴザイマスガ丁度唯今政府委員カラ御説明ニナリマシタ理由デ是丈ケハ嫌ダガ一ツ發起人ニ尋ネテ見タイト云フコトモ其中ニゴザイマス、夫カラ夫ヲ丁度御尋ネニナリマシタ時分ニ夫丈ケデ宜シイト云フ折合ガ付キマシタモノデゴザイマスカラ幸ニ此議會ヘ提出セザヤト云フ目下必要ガ起リマシテ再ビ鐵道會議ニ現ハレマシテ議決シマシタ、夫デ全體、地形上カラ觀察シマシテモ兩線ガ一絡ニ出來テモ一向差支ハナイ、アノ間ニハ大變大キナ山ガアル、此ノ方ヘモ鐵道ヲ架ケ、此方ヲヘモ架ケルト云フ様ニ自ラ地形上區域ガ立ッテ居ルカラ二本共ニ今日成立チマシテモ雙方共ニ差支ハナイト思ヒマス、本員ノ如キハドウゾ原案ノ通りニ御裁可アラムコトヲ希望スル一人デゴザイマス、ドウゾ原案ニ御贊成アラムコトヲ希望シマス

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ原案ニ付テ決ヲ採リマス、原案ニ御不同意ノ方モアリマシタカラ起立ニ問ヒマス、是ハ原案ノ通りデ宜シイト御考ヘノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○委員長(公爵近衛篤磨君) 夫デハ是ハ決シマシタ、次ニ「福島縣下福島近傍ヨリ山形縣下米澤及山形、秋田縣下秋田、青森縣下弘前ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ山形縣下酒田ニ至ル鐵道」

○尾崎三良君 チョット質問致シタウゴザイマスガ此「福島縣下福島近傍ヨリ山形縣下米澤及山形、秋田縣下秋田、青森縣下弘前ヲ經テ青森ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ山形縣下酒田ニ至ル鐵道」マア此處マデハ冠詞ヲ見タヤウナモノデスナ、夫カラ此鐵道ハ何處カラ分岐スルカ分ラヌガ……

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ敷設法ニ斯ウ書イテゴザイマス、敷設法ニアリマスカラ唯題號ヲ此處ヘ掲ゲタノデゴザイマス

○尾崎三良君 是ハドウ云フ所カラ願ッテ來タノデアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ酒田鐵道會社ト云フモノガ出願シテ居リマス、彼ノ有名ナ出羽ノ本間ナドガ這入ッテ居リマス

○子爵曾我祐準君 チョット御尋ネシマス、此線路ノ中ニ今鐵道廳デ御調べニナツタ二百七十何万圓ト云フノデスガ夫ナラあぶと式ヲ用ヒズニ行ケルト云フ調査デスカ、其邊ニ頓著致スノデアリマセヌカ

○政府委員(松本莊一郎君) 頓著致スルノデアリマスガ夫ハ勾配ガ六十分ノ一ヨリ急ナ所ハ一ツモナイノデ矢張り之ヲ四十分ノ一ニスルナラバ幾分力土工ヲ減シとんぬるヲ短クスルコトガ出來ラウト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 サウスルト非常ニ此方ハ酷ナ調査デスナ、酷ト云ッテハ少シヒドウゴザイマセウガ……

○政府委員(松本莊一郎君) 豫定線ヲ定メルノハ一番宜シイ所ヲ取ルノデゴザイマス、是ハあぶとモ何モナクテ宜シイノデゴザイマス

○委員長(公爵近衛篤磨君) 御異存ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト述フル者多シ)

○委員長(公爵近衛篤磨君) 可決致シマス、次ニ比較線決定ニ關スル乙デスガ、是ハ無期限デアリマスガ直江津カラ新潟ヘ參リ新發田ニ至ル鐵道ヲ許スト云フコトニナツテ居リマスカラ此場合ニ議題ト致シマス

(朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一新潟縣下直江津ヨリ新潟及新發田ニ至ル鐵道

○子爵曾我祐準君 此案ハ矢張り上越線ノ方ヲ先刻モ申シマシタ通り私ハ欲スルモノデアリマスルカラ未決ニシテ今日ハ決スベカラザルモノト致シテヲキタイト考ヘマス、夫丈ケヲ……

○小室信夫君 私ハ先刻會我サンノ御説ヲ伺ヒマシタガ上越線ハ既ニ私設ノ願ガ出テ居リマシテ之ヲ許スコトハ差支ハナイト云フ政府委員ノ御説明モアリマシテ是ハ御許シニナリマシテ兩線併ビ立ッ様ニナリマシタラ一層便利ダラウト思ヒマスカラ原案ニ贊成致シマス

○子爵曾我祐準君 私ノ考デハ上越線ハ私設ヲ許シタイト云フノデハナイ、即チア、云フ必要ナ線路ハ官設トシテヤリタイト云フコトデゴザイマスカラ即チ先刻モ申シマシタ通り官線ハ山ノ方バカリ引受ケテラバ引合ウマイカラ越後ノ長岡ノ平地ノ方モヤラヌケレバ大變政府ノ不利デアラウト思ヒマス、夫故ニ米山ヲ越ス所ハ別ニ間ハナイガ長岡近傍モヤラナケレバ唯金ヲ掛ケテモ利益ガ渺イ道理デアルカラチョット辯ジテ置キマス

○委員長(公爵近衛篤磨君) 是ハ兩説ニナツテ居リマスカラ起立ニ問ヒマス、之ヲ許スベシト云フ、即チ直江津ノ方ヲ採ルト云フニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○委員長(公爵近衛篤磨君) 多數デゴザイマス、是ニ決シマス、夫デハ是デ散會致シマス

午後一時十五分散會